

ST1™ および ST1-X™ Series ストレッチャー

操作マニュアル


















REF 6300









CE

JA

記号

	取扱説明書/小冊子を参照
	操作方法/使用説明書を参照
	一般的な警告
	注意
	警告；手を挟む危険性
	押さないこと
	潤滑油を差さないこと
	カタログ番号
	シリアル番号
	米国での特許については www.stryker.com/patents を参照
	CEマーク
	欧州共同体の正規代理店
	欧州医療機器
	製造者（XXXXは製造年を表します）
	安全使用荷重
	患者最高体重
	安全使用荷重での機器の質量
	B形装着部
	用手洗淨

	機械乾燥不可
	ドライクリーニング不可
	アイロン不可
	完全自然乾燥
	塩素系漂白
	潤滑剤を塗布する

目次

警告/注意/注記の定義	2
安全に関する注意事項の概要	3
ピンチポイント	5
はじめに	6
製品説明	6
適応	6
臨床的有用性	7
予想耐用年数	7
予想耐用期間	7
廃棄/リサイクル	7
禁忌	7
仕様	7
製品図示	9
適合部品	10
連絡先	10
シリアル番号の位置	11
シリアル番号の位置	11
セットアップ	12
マットレスをセットアップする	12
動作時	13
ブレーキをかける/解除する	13
ベースの操作	14
担架を上げる	15
担架を下げる	15
本製品をトレンデレンブルグ位にする	15
本製品の逆トレンデレンブルグ位への位置調節	16
格納式第5輪で患者を搬送する	16
仰臥面間での患者の移動	16
頭側端部プッシュハンドル オプションの位置調整または格納	17
足側端部のプッシュハンドル オプションを位置調整または格納する	17
サイドレールを上げる	18
サイドレールを下げる	19
背もたれ部の昇降	19
基部フードに物を収納する	19
オプションの2段階式永久装着点滴ポールの位置調整	21
オプションの3段階式永久装着点滴ポールの位置調整	21
付属品と部品	23
除細動器トレイ/診療記録用ホルダーの装着	23
取り外せる点滴ポールの装着と位置調節	24
縦型酸素ボンベホルダーの装着	25
ペーパーロールホルダーの装着	26
患者拘束ストラップの固定位置	28
X線カセットを挿入または取り外す	28
洗浄	30
製品の清掃	30
ヨウ素を取り除く	30
特記事項	31
マットレスの洗浄	31
製品を消毒する:	32
マットレスの消毒	32
予防保守	34
格納式第5輪を潤滑する	35

警告/注意/注記の定義

警告、注意、および注記は特別な意味を持つため、慎重に確認してください。

警告

回避しなければ死亡や重大な人身事故につながり得る状況について、読む人に注意をうながします。また重篤な有害作用の可能性および安全上の問題についても記述することがあります。

注意

回避しなければ操作者や患者に対する軽度ないし中等度の負傷、または製品や他の物品の損傷につながり得る状況について、注意をうながします。これには、装置の安全かつ有効な使用に必要な特別な注意や、使用や誤用の結果起こりうる装置への損傷を防ぐために必要な注意が含まれます。

注記 - 特別な情報を提供し、保守を容易にしたり、重要な説明をより分かり易くしたりします。

安全に関する注意事項の概要

本ページに記載されている警告と注意をお読み頂き、厳密に従ってください。有資格者のみが修理してください。

警告

- 必ず製品が室温になってから、設定や機能操作テストを行うようにしてください。製品に恒久的な機能損傷が起こる可能性があります。
- 必ず介助者全員が構造から離れている時に、製品の操作を行ってください。
- Strykerモデル6300 ST1およびST1-X Seriesストレッチャーには、必ずマットレス (6300-0-100、6300-0-102、6300-0-103または6300-0-104) を使用してください。これ以外のマットレスを使用すると、患者の負傷につながるおそれがあります。
- ST1-Xオプションに6.35 cm (2.5インチ) よりも厚いマットレスを使用する際には必ず注意してください。サイドレールによる保護効果が少なくなるため患者の落下リスクを軽減するよう、操作者による監視が推奨されます。
- マットレスには必ずリネンを使用します。
- マットレスカバーに針を刺さないでください。穴があると、マットレスの内部 (内核) に体液が入り、二次汚染または製品損傷を引き起こす可能性があります。
- マットレスと共に、本書の仕様セクションに説明されている、適合フレームを必ずご使用ください。
- 患者が製品に乗り降りしている時、または製品を動かしていない時は、常にブレーキをかけてください。患者が製品に乗り降りしている時に製品が動くと、人身事故につながる可能性があります。
- 必ず患者の位置を本製品の真ん中になるようにしてください。
- 患者に誰も付き添っていない時は、必ずサイドレールを上げ、本製品を最も低い位置にしてラッチをかけます。本製品を最も高い位置にして離れないでください。
- 担架を昇降させる前に、妨げとなる可能性がある装置を必ず取り除きます。
- 製品の端に腰掛けないでください。製品が転倒するおそれがあります。
- 患者を移動させる時は常に、仰臥面が一番低い位置にある状態で、サイドレールを一番高い位置にロックしてください。
- 製品が転倒するのを防ぐため、横側6°(10%)を超える角度で製品を移動させないでください。患者を搬送する際、必ず担架を最低高で水平 (トレンデレンブルグ/逆トレンデレンブルグにしない) してください。
- 患者サポートプラットフォーム (ベッド、ストレッチャー、ガーニー、手術台) から別の患者サポートプラットフォームに患者を移す際は、患者が乗っている仰臥面と次に移る仰臥面の両方のブレーキを必ず事前にかけてください。
- 必ず両方の患者サポートプラットフォームを同じ高さにしてから患者を移します。
- 除細動器トレイ/診療記録用ホルダー、縦型酸素ポンベホルダーを使用する時は、足側端部のプッシュハンドルから手や指が必ず離れているようにします。
- サイドレールを上げ下げする時は必ず、サイドレールのスピンドルから患者の手足が離れているようにしてください。
- サイドレールがひとりでに下がらないようにしてください。
- 背もたれ部を下げる時は必ず、手や指が背もたれ部解除ハンドルおよび背もたれ部フレームに触れていないようにします。
- 患者が製品に乗っている状態で空気式背もたれ部を上げるときは、必ず注意を払ってください。適切な持ち上げ技法を用いて、必要に応じて助けを得てください。
- 背もたれ部を上げる時は、背もたれ部と担架フレームの間にもものを置かないでください。
- 点滴ポールには、安全使用荷重18 kgを超える点滴バッグを吊るさないでください。
- 点滴ポールのどのハンガーにも、安全使用荷重4.5 kgを超える点滴バッグを吊るさないでください。
- 患者を移動させるときは、出入り口を通過できるように、点滴ポールが低い位置にあることを必ず確認してください。
- 点滴ポールを押したり引いたりしないこと。製品に損傷が起こる可能性があります。
- 必ず有資格者が付属品を組み立てて装着してください。
- 除細動器トレイ/診療記録用ホルダー、縦型酸素ポンベホルダーが取り付けられている場合は、足側端部のプッシュハンドルオプションの位置調整を行う時に、指を挟まないように常に注意してください。
- 除細動器トレイ/診療記録用ホルダーには、安全使用荷重14 kgを超えるものを置かないでください。
- 除細動器トレイ/診療記録用ホルダーを押す/引くための道具として使用しないでください。製品に損傷が起こる可能性があります。
- 点滴ポールには、安全使用荷重6 kgを超える点滴バッグを吊るさないでください。

- 点滴ポールのどのハンガーにも、安全使用荷重3 kgを超える点滴バッグを吊るさないでください。
- 種類を問わず縦型酸素ボンベホルダーには、安全使用荷重18 kgを超えるものを置かないでください。
- 縦型酸素ボンベホルダーを押す/引くための道具として使用しないでください。製品に損傷が起こる可能性があります。
- ペーパーロールホルダーを押す/引くための道具として使用しないでください。製品に損傷が起こる可能性があります。
- ペーパーロールホルダーには、安全使用荷重1.5 kgを超えるものを吊さないでください。
- 拘束ストラップを取り付ける時は常に注意を払ってください。患者または介助者の怪我を引き起こす場合があります。身体拘束は固定していても、からまつたり、巻き込まれたり、身体的な怪我あるいは死亡を含む重大な危害を患者および介助者にもたらす場合があります。
- 拘束ストラップまたは装置は必ず、製品の所定の取付位置にのみ取り付けるようにしてください。これを怠ると、患者や介助者が怪我をする場合があります。サイドレールに拘束ストラップを絶対に取り付けしないでください。
- 拘束ストラップまたは装置を使用する前に、適用される州・国の制限や規制、適切な施設の手順を必ず参照してください。
- 放射線発生装置とX線オプションを使用する際は、必ず事前に州および国の安全性に関する該当規則および規制を参照してください。発生装置から残留放射線、迷放射線、散乱放射線が発生する可能性があります。
- 背もたれ部をまっすぐに立てた状態または側臥カセットを使用してX線撮影を行う場合は、特に注意を払ってください。
- 本マットレスの内部部品を洗淨しないでください。内部に汚れが見られた場合は、マットレスを廃棄してください。
- マットレスを洗淨液や消毒剤溶液に浸さないでください。
- マットレスの上に液体が溜まらないようにしてください。
- マットレスカバーをアイロン、ドライクリーニング、機械乾燥しないでください。
- 本製品の使用中は、清掃、保守、メンテナンスは行わないでください。
- 本製品は蒸気洗淨したり、ホースで水をかけたり、超音波洗淨したりしないでください。これらの清掃方法を用いることは推奨されず、製品保証が無効になる場合があります。
- 交差汚染および感染のリスクを回避するため、必ずマットレスは病院の手順に従って消毒してください。
- 本製品の消毒にVirex® TBを使用しないでください。
- グリコール・エーテルを含む加速化過酸化水素または第四級物質は、マットレスカバーの損傷の原因となることがあるため、使用しないでください。
- マットレスカバーを洗淨する度に、マットレスを点検してください。マットレスカバーを洗淨する度に、病院の手順に従って予防保守を実施してください。破損がある場合は、マットレスの使用を停止し、交差汚染を避けるために製品を交換してください。

注意

- 製品の不適切な使用により、患者または介助者が負傷する可能性があります。本製品は、本書に記載されているとおりにのみ操作してください。
- 製品または製品の部品を改造しないでください。製品を改造すると、予測不可能な動作の原因となり患者や介助者が負傷する可能性があります。また、製品を改造すると保証が無効になります。
- ST1およびST1-X Seriesストレッチャーは、必ず木製、コンクリート製、またはセラミックタイル製の床の上で移動させてください。床が合成材料で覆われている場合には、静電気放電を避けるため、相対湿度は最低30%とします。
- 本製品の下面にある患者用リフトで、製品を持ち上げるために底部の油圧を使わないでください。
- 基部フードに60 lb (27 kg) を超えるものを置かないでください。
- 基部フードの上に座ったり、踏んだり、立ったりしないでください。
- 必ず製品に認められた付属品をST1およびST1-X Seriesストレッチャーに使用してください。
- 必ずフォームコアには6300-1-000のマットレスカバーを使用してください。
- 必ず清潔な水で本製品を拭くことを確認してください。洗淨後、各製品を乾燥させます。一部の洗淨剤には本来、腐食性があり、製品を損傷する可能性があります。これらの洗淨手順に従わないと保証が無効になる場合があります。
- マットレスカバーの予想耐用期間が短くなるため、強力な化学薬品が含まれる洗淨剤および消毒剤は使用しないでください。
- マットレス底部を洗淨する際には、ファスナー部分や撥水性のカバーバリアに液体が染み込まないようにしてください。ファスナーに液体が接触すると、マットレスの中に漏れることがあります。
- 必ずマットレスを乾かしてから、保管、リネンの追加、または患者を仰臥面に乗せてください。製品を乾かすことで、製品の性能が損なわれることを防げます。

- 高濃度の消毒剤溶液にマットレスカバーをさらし過ぎるとマットレスカバーが劣化するため、さらし過ぎないでください。
 - 製造業者の洗浄指図およびStrykerの操作説明に従わないと、マットレスの耐用年数に影響することがあります。
-

ピンチポイント

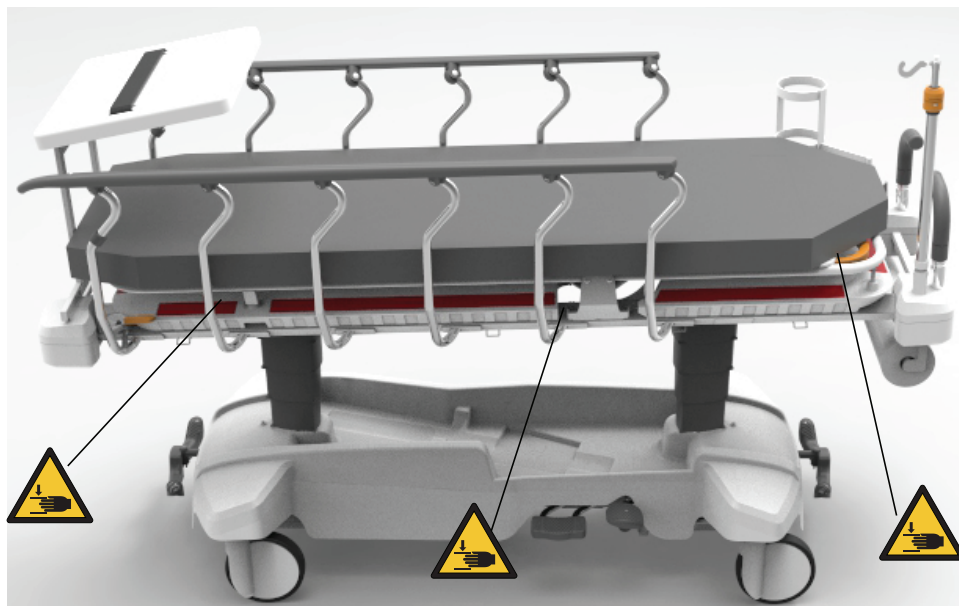


図1-X線検査用オプション専用のピンチポイント

はじめに

本取扱説明書は、ご使用になるStryker製品を操作または保守を行う際にご覧ください。製品の操作または保守を行う前に、本書を一読してください。製品の安全な操作と保守に関して、スタッフの教育・トレーニング方法および手順を定めてください。

注意

- 製品の不適切な使用により、患者または介助者が負傷する可能性があります。製品は、本書に記載されているとおりにのみ操作してください。
- 製品または製品の部品を改造しないでください。製品を改造すると、予測不可能な動作の原因となり患者や介助者が負傷する可能性があります。また、製品を改造すると保証が無効になります。

注記

- 本書は製品に恒久的に付随するものであるため、今後製品を売却することがあっても製品と一緒に保管しておくことをお勧めします。
- Strykerでは、継続的に製品のデザインと品質において進歩を追求しています。本取扱説明書には、発行時に入手している最新の製品情報が記載されています。ご使用の製品と本取扱説明書の記述に若干の不一致がある場合があります。ご質問がある場合は、Strykerカスタマーサービスまたはテクニカルサポート+1-800-327-0770までお問い合わせください。

製品説明

Stryker Model 6300 ST1 およびST1-Xストレッチャーは、患者を水平位に保つよう、車輪付きのフレームに支持台が取り付けられた車輪付き装置です。ストレッチャーは、医療施設内において医療従事者または訓練を受けた施設の担当者が、介助者として患者を搬送するための手段となります。Stryker Model 6300 ST1およびST1-Xシリーズの格納式第5輪搭載ストレッチャーは、しっかりと床を捉えて走行しコーナリングが最適化されるため、総合的な走行性が優れています。

適応

本ストレッチャーは、外科手術を受ける軽症～重症患者用です。本ストレッチャーは、病院、医療機関、診療所において短期滞在外来患者の臨床評価、治療、簡単な処置、および短期滞在外来患者の回復プラットフォームとして使用します。本ストレッチャーはまた、死亡した患者を医療施設内において搬送するのにも使用できます。本ストレッチャーの操作者は、医療従事者（看護師、看護助手、医師）およびベッドの動作機能を使用できるその場にいる人（サービスまたは保守担当者）です。

ストレッチャーは下記の分野で使用できますが、これらに限りません：

- 救急診療科（ED）
- 外傷
- 麻酔後回復室（PACU）

ST1およびST1-Xシリーズのストレッチャーフレーム、担架搭載付属品、マットレス、およびサイドレールは患者の皮膚に接触します。

意図される環境条件については、仕様一覧をご覧ください。

ST1およびST1-Xシリーズのストレッチャーは、長期入院（24時間超）患者の治療や回復のための使用を意図していません。

本製品は、在宅医療環境下、滅菌製品としての使用、在宅医療セッティング下、可燃性麻酔薬の存在下での使用、腹臥位にある患者への支持としての使用、不安定な脊髄損傷を有する患者または酸素テントを使用する患者への使用を意図していません。

X線検査用デッキのオプション付きST1-Xシリーズのストレッチャーは、X線カセットを配置するために、患者支持面の下に連結式のX線検査用患者支持面およびプラットフォームを備えています。X線検査用デッキのオプション付きST1-Xシリーズのストレッチャーでは、医用X線システムと共に使用することで、医用X線撮影（AP全身、オプションの全身側部、オプションの垂直胸部）ができるようになっています。

臨床的有用性

患者の搬送、治療のサポートおよび診断

予想耐用年数

X線デッキオプション付きST1およびST1-X Seriesストレッチャーは、通常の使用、条件、適切な定期メンテナンスの下、10年間の耐用年数を想定しています。

キャストについては、通常の使用、条件、および適切な定期メンテナンスの実施により最低5年間の耐用年数を想定しています。

予想耐用期間

通常の使用条件と環境で定期的に適切なメンテナンスを行った場合のST1™およびST1-X™フォームマットレスの予想耐用期間は1年です。



廃棄/リサイクル

環境保護並びに耐用年数を終えた機器のリサイクルまたは廃棄に関するリスクを規定する、現地で施行されている最新の推奨事項および/または規制に必ず従ってください。

禁忌

既知の禁忌はありません。

仕様

	安全使用荷重は、患者、マットレス、付属品の重量の合計を示しています	250 kg	
	患者最高体重	215 kg	
全長	2170 mm ± 10 mm		
全体幅 (サイドレールアップ)	790 mm ± 10 mm		
全体幅 (サイドレールダウン)	735 mm		
高さ	X線なし	X線あり	
最低の高さ	560 mm + 15 mm、 - 25 mm	610 + 15 mm、 - 25 mm	
最大の高さ	860 ± 10 mm	910 ± 10 mm	
背もたれ部の角度	0° ~ 90° (± 5°)		
トレンデレンブルグ/逆トレンデレンブルグ	+16°/-16° (± 3°)		
最小クリアランス	公称	15.4 cm ± 5 mm	
	液圧ジャックの下	4.6 cm ± 5 mm	

適合するマットレス	6300-0-100	6300-0-102	6300-0-103	6300-0-104
長さ	193 cm	193 cm	193 cm	193 cm
幅	62 cm	62 cm	62 cm	62 cm
厚さ	8 cm	10 cm	8 cm	10 cm
体重	3.7 ± 1.0 kg	4.4 ± 1.0 kg	4.3 ± 1.0 kg	4.8 ± 1.0 kg
発泡樹脂	ポリウレタン	ポリウレタン	ポリウレタン	ポリウレタン
カバー	ポリウレタンおよび ポリアミドコーティ ングのポリエステル	ポリウレタンおよび ポリアミドコーティ ングのポリエステル	ポリウレタンおよび ポリアミドコーティ ングのポリエステル	ポリウレタンおよび ポリアミドコーティ ングのポリエステル
火炎バリア付きモデル	なし	なし	あり	あり

注記

- 適用される可燃性基準については、マットレスのラベルをご覧ください。
- 本製品は、可燃性麻酔薬と空気、酸素または亜酸化窒素が混在するような環境での使用には適していません。
- ここに記載された仕様はおおよそであり、製品により若干異なる場合があります。

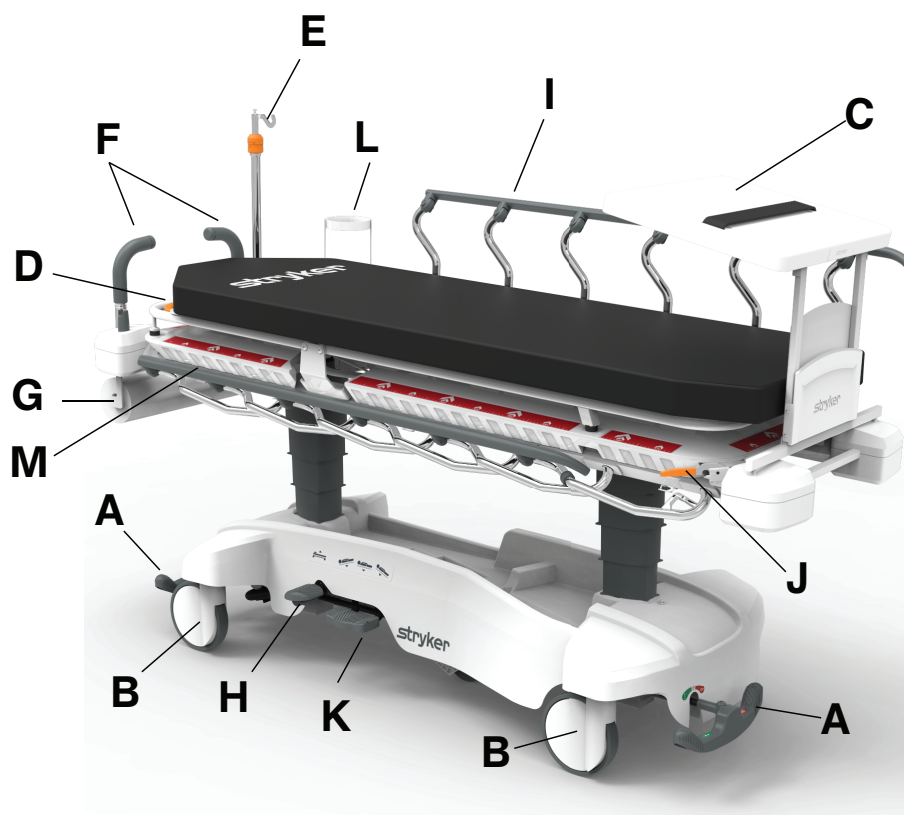
Strykerは断りなく仕様を変更する権利を有します。

環境条件	動作時	保管と運搬
温度		
相対湿度		

欧州REACH規則およびその他の環境保護に関する規制の要件に従って、申告が必要な物質を含む部品を記載しています。

説明	品番	高懸念物質 (SVHC) 化学名
2段点滴ポール	HM-19-108	フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP)
3段点滴ポール	HM-19-115	フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP)

製品図示



A	ブレーキ/ステアリング制御ペダル	H	ポンプペダル
B	キャスター	I	サイドレール
C	除細動器トレイ/診療記録用ホルダー	J	サイドレール解除ハンドル
D	背もたれ部解除ハンドル	K	共通-下部ペダル
E	点滴ポール	L	縦型酸素ボンベホルダー
F	ポップアップ式プッシュハンドル	M	X線検査用デッキ
G	ペーパーロールホルダー	N	静電気防止キャスター

適合部品

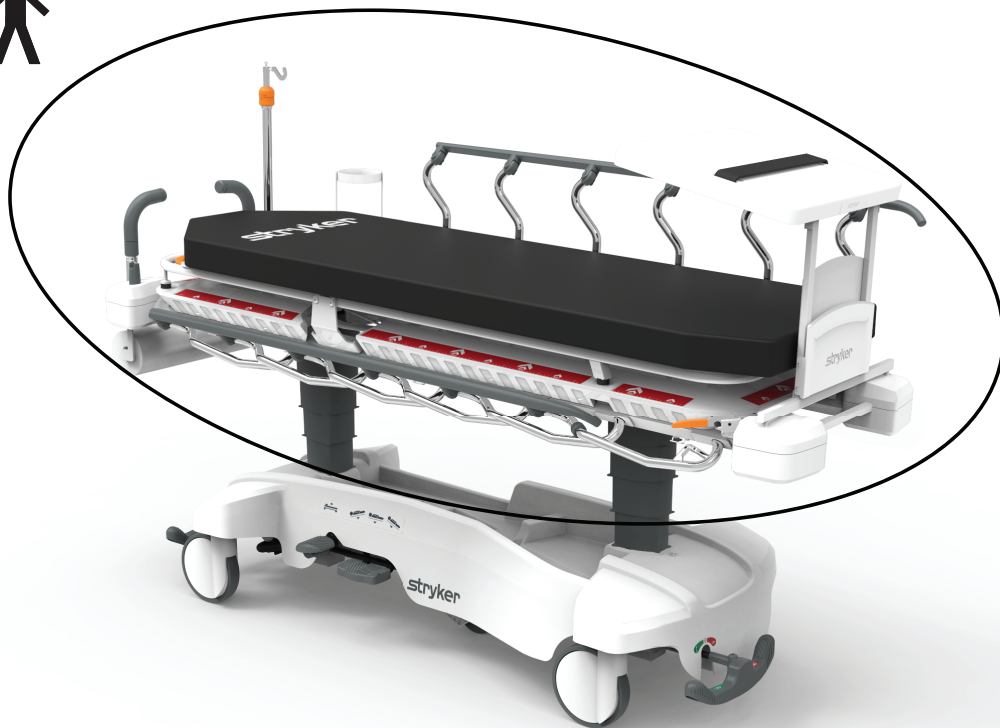


図 2 – タイプB適合部品

連絡先

Strykerカスタマーサービスまたはテクニカルサポートまでご連絡ください：+1 800-327-0770.

Stryker Medical International
Kayseri Serbest Bölge Şubesi
2. Cad. No:17 38070
Kayseri, Turkey
電子メール: infosmi@stryker.com
電話：+ 90 (352) 321 43 00 (PBX)
ファックス：+ 90 (352) 321 43 03
ホームページ: www.stryker.com

注記 - 製品に関連して重大な事故が発生した場合、使用者および / または患者は居住地を管轄する欧州連合加盟国の監督官庁並びに製造業者の両方に報告する必要があります。

オンラインの操作・保守説明書を閲覧するには、<https://techweb.stryker.com/>を参照してください。

Strykerカスタマーサービスにご連絡いただく際は、Stryker製品のシリアル番号(A)をご用意ください。書面にてご連絡いただく場合は、必ずシリアル番号を記載してください。

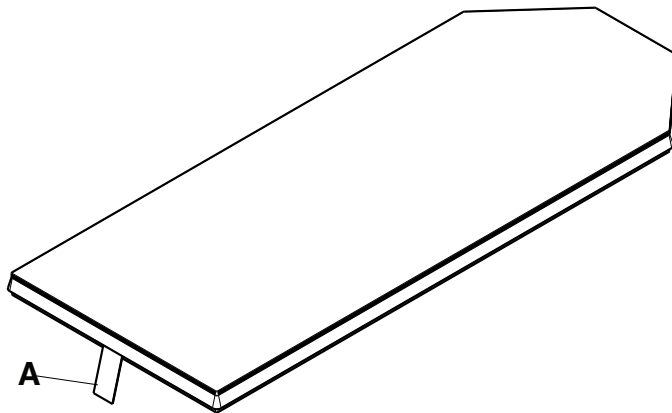
シリアル番号の位置



図 3-シリアル番号の位置

シリアル番号の位置

マットレスカバーのファスナーを開き、製品ラベルとシリアル番号を露出させます。



セットアップ

製品の梱包を解くには、輸送クレートに入っている製品に付いている「梱包から製品を出すための指示書」をご覧ください。

警告

- 必ず製品が室温になってから、設定や機能操作テストを行うようにしてください。製品に恒久的な機能損傷が起こる可能性があります。
- 必ず介助者全員が構造から離れている時に、製品の操作を行ってください。
- Strykerモデル6300 ST1およびST1-X Seriesストレッチャーには、必ずマットレス (6300-0-100、6300-0-102、6300-0-103または6300-0-104) を使用してください。これ以外のマットレスを使用すると、患者の負傷につながるおそれがあります。
- ST1-Xオプションに6.35 cm (2.5インチ) よりも厚いマットレスを使用する際には必ず注意してください。サイドレールによる保護効果が少なくなるため患者の落下リスクを軽減するよう、操作者による監視が推奨されます。

注意 - ST1およびST1-X Seriesストレッチャーは、必ず木製、コンクリート製、またはセラミックタイル製の床の上で移動させてください。床が合成材料で覆われている場合には、静電気放電を避けるため、相対湿度は最低30%とします。

使用する前に製品が作動することを確認してください。

- ブレーキをかけます。製品を押して、4つのキャスターすべてにロックがかかることを確認します。
- ブレーキを放します。製品を押して、4つのキャスターすべてのロックが解除されることを確認します。
- 液圧リフトシステムで担架を上下させます。
- 製品を一番高い位置にして、トレンデレンブルグ位置にします。頭側端部が最低位置まで完全に下がっていることを確認してください。
- 製品を一番高い位置にして、逆トレンデレンブルグ位置にします。足側端部が最低位置まで完全に下がっていることを確認してください。
- 第5輪を作動させ、第5輪が製品を誘導して方向転回させることを確認します。
- サイドレールを上げたり下げたりでき、所定の位置でロックされることを確認します。
- 手動式の背もたれ部 (頭部) を上下させます。

マットレスをセットアップする

警告

- マットレスには必ずリネンを使用します。
- マットレスカバーに針を刺さないでください。穴があると、マットレスの内部 (内核) に体液が入り、二次汚染または製品損傷を引き起こす可能性があります。
- マットレスと共に、本書の仕様セクションに説明されている、適合フレームを必ずご使用ください。

マットレスをセットアップする :

- 適合するストレッチャーの上にマットレスを置きます。
- マットレスをストレッチャーの頭側端部に位置するStrykerのロゴに合わさるように位置を調整します。
- フックとループ状固定具を、上からマットレスの底面カバーからストレッチャーの担架デッキへと配置します。
- 撥水性フラップがファスナーを覆い隠すようにします。
- 患者に使用する前に、マットレスにリネンを敷きます。院内規定に従ってください。

動作時

ブレーキをかける/解除する

警告 - 患者が製品に乗り降りしている時、または製品を動かしていない時は、常にブレーキをかけてください。患者が製品に乗り降りしている時に製品が動くと、人身事故につながる可能性があります。

ブレーキをかけるには、ブレーキ/ステアリングペダルのブレーキ(赤)側を踏みます。ブレーキがかかることを確認するため、本製品を押してみます。

ブレーキを解除するには、ブレーキ/ステアリングペダルのステアリング(緑)側を踏みます。



図4-ブレーキステアリングペダル

ベースの操作



図5-ブレーキステアリングペダル

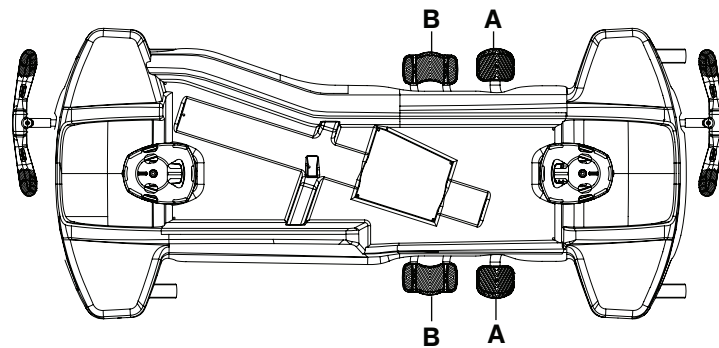


図6-サイド液圧コントロールを使って担架を持ち上げる

担架を上げる

警告

- 必ず患者の位置を本製品の真ん中になるようにしてください。
- 患者に誰も付き添っていない時は、必ずサイドレールを上げ、本製品を最も低い位置にしてラッチをかけます。本製品を最も高い位置にして離れないでください。
- 担架を昇降させる前に、妨げとなる可能性がある装置を必ず取り除きます。
- 製品の端に腰掛けないでください。製品が転倒するおそれがあります。

注意 - 本製品の下にある患者用リフトで、製品を持ち上げるために底部の油圧を使わないでください。

担架を上げるには、ポンプペダル (A) を希望の高さになるまで押し下げます。(ベースの操作(ページ14))。

担架を下げる

警告

- 必ず患者の位置を本製品の真ん中になるようにしてください。
- 患者に誰も付き添っていない時は、必ずサイドレールを上げ、本製品を最も低い位置にしてラッチをかけます。本製品を最も高い位置にして離れないでください。
- 担架を昇降させる前に、妨げとなる可能性がある装置を必ず取り除きます。
- 製品の端に腰掛けないでください。製品が転倒するおそれがあります。

注意 - 本製品の下にある患者用リフトで、製品を持ち上げるために底部の油圧を使わないでください。

担架全体を下げるには、共通 - 下部ペダル (B) の中央を押し下げます (ベースの操作(ページ14))。

担架の頭側端部を下げるには、ペダルを押し下げるか、製品の頭側端部に近い共通 - 下部ペダル (B) の横を押し下げます。

担架の足側端部を下げるには、製品の足側端部に近い共通 - 下部ペダル (B) の横を押し下げます。

本製品をトレンデレンブルグ位にする

警告 - 担架を昇降させる前に、妨げとなる可能性がある装置を必ず取り除きます。

注意 - 本製品の下にある患者用リフトで、製品を持ち上げるために底部の油圧を使わないでください。

本製品をトレンデレンブルグ体位 (頭部低位) にするには、担架を最も高い位置まで持ち上げます (担架を上げる (ページ15))。

注記 - 担架を最も高い位置まで上げることで、もっと大きいトレンデレンブルグ角度にすることができます。

本製品の頭側端部のみを下げるには、頭側端部に最も近い共通 - 下部ペダル (B) の横を押し下げます (ベースの操作 (ページ14))。

本製品をトレンデレンブルグ位から下げるには、担架が水平位になるまで共通-下部ペダル(B)の中心を押し下げます。

本製品の逆トレンデレンブルグ位への位置調節

警告 - 担架を昇降させる前に、妨げとなる可能性がある装置を必ず取り除きます。

注意 - 本製品の下にある患者用リフトで、製品を持ち上げるために底部の油圧を使わないでください。

本製品を逆トレンデレンブルグ体位（足部低位）にするには、担架を最も高い位置まで持ち上げます（担架を上げる（ページ15））。

注記 - 担架を最も高い位置まで上げることで、もっと大きいトレンデレンブルグ角度にすることができます。

本製品の足側端部のみを下げるには、足側端部に最も近い共通 - 下部ペダル（B）の横を押し下げます（ベースの操作（ページ14））。

本製品を逆トレンデレンブルグ位から下げるには、担架が水平位になるまで共通-下部ペダル(B)の中央を押し下げます。

格納式第5輪で患者を搬送する

警告

- 必ず患者の位置を本製品の真ん中になるようにしてください。
- 担架を昇降させる前に、妨げとなる可能性がある装置を必ず取り除きます。
- 患者を移動させる時は常に、仰臥面が一番低い位置にある状態で、サイドレールを一番高い位置にロックしてください。
- 製品が転倒するのを防ぐため、横側6°(10%)を超える角度で製品を移動させないでください。患者を搬送する際、必ず担架を最低高で水平（トレンデレンブルグ/逆トレンデレンブルグにしない）してください。

注意 - 本製品の下にある患者用リフトで、製品を持ち上げるために底部の油圧を使わないでください。

格納式第5輪で患者を搬送する：

- ブレーキ / ステアリングペダルのステアリング側を踏んで、格納式第5輪を適用します。
- 本製品を横方向に動かすには、ペダルを中立位置に合わせます。本製品を希望の位置に移動させます。

注記 - 格納式第5輪を使用している状態で本製品を横方向に動かそうとしないでください。

- ブレーキをかけて本製品を所定位置にロックします。

注記 - 介助者または患者の怪我を防ぐため、製品を動かす前にブレーキが完全に解除されていることを確かめてください。

仰臥面間での患者の移動

警告

- 患者サポートプラットフォーム（ベッド、ストレッチャー、ガーニー、手術台）から別の患者サポートプラットフォームに患者を移す際は、患者が乗っている仰臥面と次に移る仰臥面の両方のブレーキを必ず事前にかけてください。
- 必ず両方の患者サポートプラットフォームを同じ高さにしてから患者を移します。

仰臥面間での患者の移動：

- ブレーキをかけます。ブレーキがかかることを確認するため、本製品を押してみます。
- 支持の合わせ面に向いたサイドレールを最低位まで押し下げます。
- 患者を支持の合わせ面に移動させます。
- サイドレールをラッチされたアップ位置まで上げます。

頭側端部プッシュハンドル オプションの位置調整または格納

頭側端部プッシュハンドル オプションを位置調整または格納するには：

1. 頭側端部のプッシュハンドルを一度に一つずつ、まっすぐ上方に持ち上げます。
2. 頭側端部プッシュハンドル (A) を使用位置まで回転させます (図7)。
3. 一度に一つずつ押し下げ、プッシュハンドルを所定の位置にロックします。

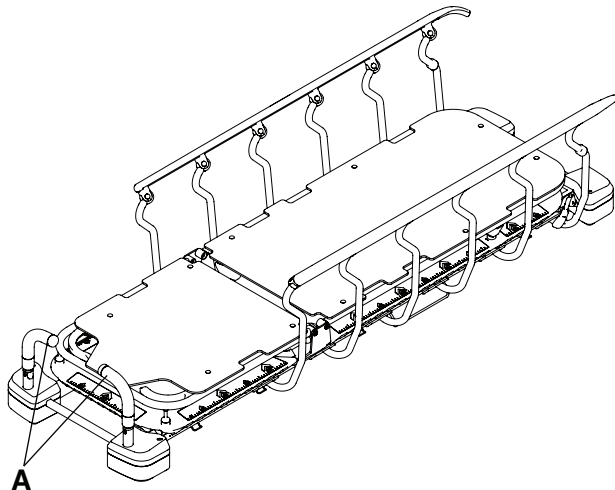


図7-頭側端部プッシュハンドルの位置調整

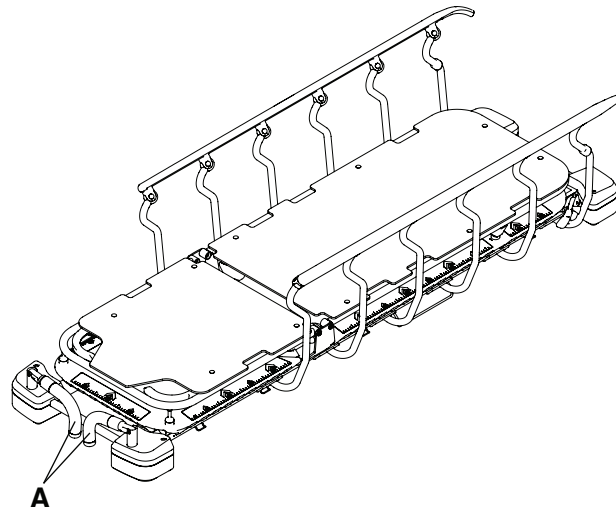


図8-頭側端部プッシュハンドルの格納

4. 頭側端部プッシュハンドル (A) を格納するには、上記手順を逆に行います (図8)。

注記 - 製品の損傷を避けるために、特別の指示がない限り、プッシュハンドルは押し下りたり引いたりするための道具としてのみ使用してください。

足側端部のプッシュハンドル オプションを位置調整または格納する

警告 - 除細動器トレイ/診療記録用ホルダー、縦型酸素ボンベホルダーを使用する時は、足側端部のプッシュハンドルから手や指が必ず離れているようにします。

足側端部のプッシュハンドルを位置調整するには：

1. 足側端部のプッシュハンドル (A) を一度に一つずつ、まっすぐ上方に持ち上げます (図9)。
2. 足側端部プッシュハンドル (A) を使用位置まで回転させます。
3. 一度に一つずつ押し下げ、プッシュハンドルを所定の位置にロックします。

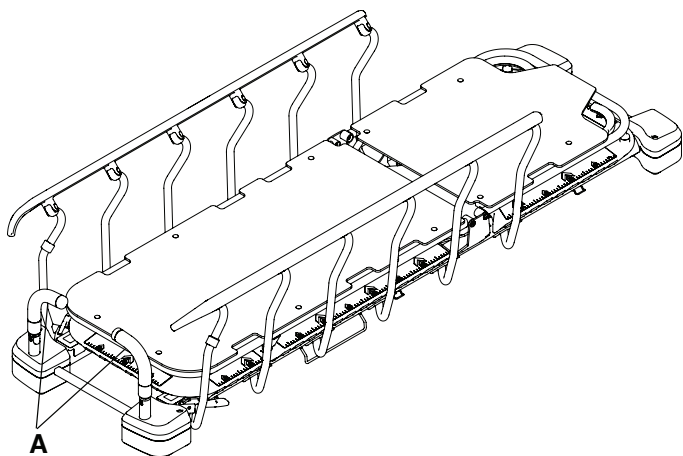


図 9- 足側端部のプッシュハンドルを位置調整する

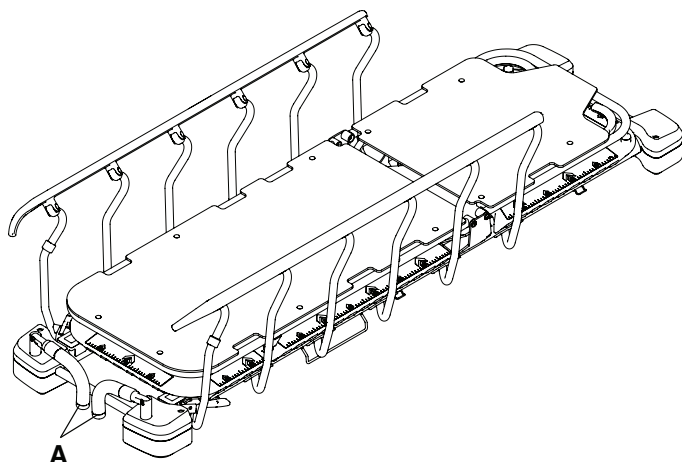


図 10- 足側端部のプッシュハンドルを格納する

4. 足側端部のプッシュハンドル (A) を格納するには、手順を逆に行います (図 10)。

サイドレールを上げる

警告

- 患者に誰も付き添っていない時は、必ずサイドレールを上げ、本製品を最も低い位置にしてラッチをかけます。本製品を最も高い位置にして離れないでください。
- 患者を移動させる時は常に、仰臥面が一番低い位置にある状態で、サイドレールを一番高い位置にロックしてください。
- サイドレールを上げ下げする時は必ず、サイドレールのスピンドルから患者の手足が離れているようにしてください。
- サイドレールがひとりでに下がらないようにしてください。

サイドレールを上げるには：

1. 両方の手を使ってサイドレールをつかみます。
2. 解除用ラッチが所定の位置にはまるまで、製品の足側端部に向かってサイドレールを持ち上げます。サイドレールにラッチがかかるように、サイドレールを引き上げます。

注記

- 患者がベッドから離床するのを防ぐための固定装置としてサイドレールを使用しないでください。サイドレールは、患者が製品から転がり落ちるのを防ぎます。介助者は患者の安全を確保するために拘束がどの程度必要かを判断する必要があります。
- サイドレールの足側端部を押したり引いたりする道具として使用できません。
- サイドレールは一番高い位置でのみロックされます。

サイドレールを下げる

警告

- 患者に誰も付き添っていない時は、必ずサイドレールを上げ、本製品を最も低い位置にしてラッチをかけます。本製品を最も高い位置にして離れないでください。
 - 患者を移動させる時は常に、仰臥面が一番低い位置にある状態で、サイドレールを一番高い位置にロックしてください。
 - サイドレールを上げ下げする時は必ず、サイドレールのスピンドルから患者の手足が離れているようにしてください。
 - サイドレールがひとりだけで下がらないようにしてください。
-

サイドレールを下げるには：

1. 片方の手を使ってサイドレールをつかみます。
2. もう片方の手で、解除用ラッチを引き上げます。
3. 解除用ラッチが所定の位置にはまるまで、サイドレールを持ち上げて製品の頭側端部に向かって動かします。サイドレールにラッチがかかるように、サイドレールを引き上げます。

注記

- 患者がベッドから離床するのを防ぐための固定装置としてサイドレールを使用しないでください。サイドレールは、患者が製品から転がり落ちるのを防ぎます。介助者は患者の安全を確保するために拘束がどの程度必要かを判断する必要があります。
- サイドレールの足側端部を押したり引いたりする道具として使用できます。
- サイドレールは一番高い位置でのみロックされます。

背もたれ部の昇降

警告

- 必ず介助者全員が構造から離れている時に、製品の操作を行ってください。
 - 背もたれ部を下げる時は必ず、手や指が背もたれ部解除ハンドルおよび背もたれ部フレームに触れていないようにします。
 - 患者が製品に乗っている状態で空気式背もたれ部を上げるときは、必ず注意を払ってください。適切な持ち上げ技法を用いて、必要に応じて助けを得てください。
 - 背もたれ部を上げる時は、背もたれ部と担架フレームの間にもものを置かないでください。
-

背もたれ部を上げるには、背もたれ部の解除ハンドルのいずれか、または両方を握り、背もたれ部を希望の角度 (0°~80°) まで引き上げます。

背もたれ部を下げるには、背もたれ部の解除ハンドル (A) のいずれか、または両方を握り、背もたれ部を希望の角度 (80°~0°) まで押し下げます。

基部フードに物を収納する

注意

- 基部フードに60 lb (27 kg) を超えるものを置かないでください。
 - 基部フードの上に座ったり、踏んだり、立ったりしないでください。
-

基部フードに患者の身の回り品を収納できます (A) (図 11)。

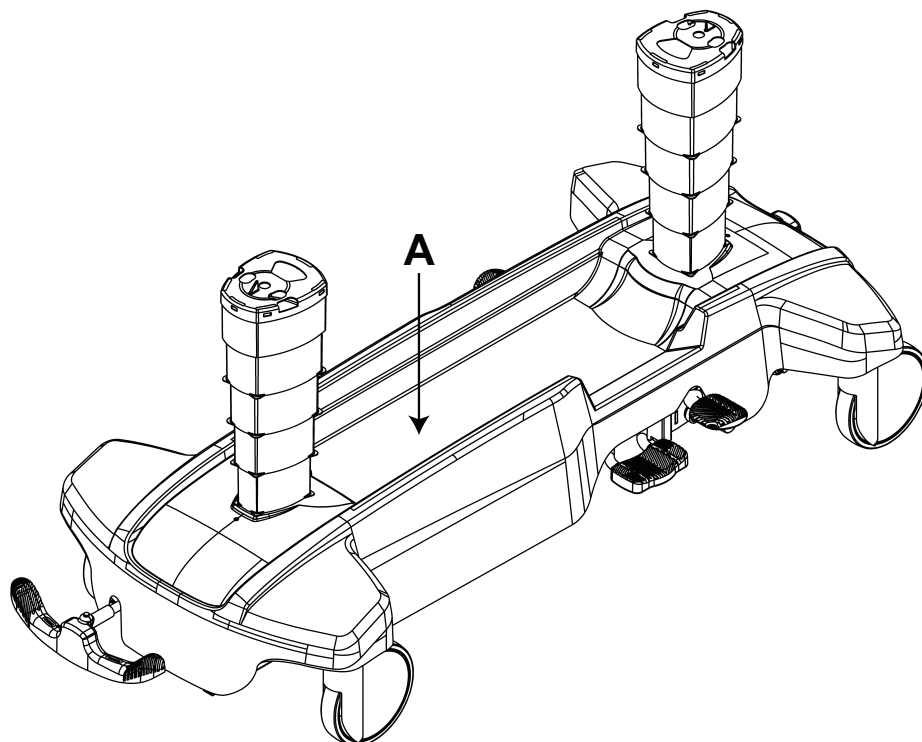


図 11 – 基部フード収納部

以下の仕様である限り、ストレッチャーの基部フードに酸素ポンペを収納できます。

ST1-Xモデル：

- 最大径 14 cm
- 最長 90 cm

仕様	ポンペのサイズ
直径 100 ~ 140 mm / 長さ 465 ~ 670 mm	3L、5L
直径 140 mm / 長さ 870 mm	UK-F
直径 140 mm / 長さ 900 mm	UK HX
直径 140 mm / 長さ 420 ~ 900 mm	E
直径 140 mm / 長さ 420 ~ 670 mm	C、CD
フランス 5L、ドイツのレギュラー 5L 酸素ポンペ、欧州 5L	

非X線検査用モデルのST1では：

- 最大径 14 cm
- 最長 64 cm

仕様	ポンペのサイズ
直径 100 ~ 140 mm / 長さ 465 ~ 640 mm	3L、5L
直径 100 ~ 140 mm / 長さ 420 ~ 640 mm	C、CD
ドイツのレギュラー 5L 酸素ポンペ、欧州 5L	

オプションの2段階式永久装着点滴ポールの位置調整

警告

- 点滴ポールには、安全使用荷重18 kgを超える点滴バッグを吊るさないでください。
- 点滴ポールのどのハンガーにも、安全使用荷重4.5 kgを超える点滴バッグを吊るさないでください。
- 患者を移動させるときは、出入り口を通過できるように、点滴ポールが低い位置にあることを必ず確認してください。
- 点滴ポールを押しったり引いたりしないこと。製品に損傷が起こる可能性があります。

製品の頭側端部、足側端部、もしくは両端に永久装着された2段階式の点滴ポールオプション付きで、本製品をお求めいただけます。点滴ポールは伸縮式のため別の高さでも使用できます。使用していない時は、点滴ポールを折たたんで格納できます。

2段階点滴ポールの位置決め (図 12) :

1. 保管位置からポールを持ち上げて回転させます。
2. 点滴ポールが所定の位置にロックされるまで、点滴ポールを下に押し下げます。
3. 点滴ポールの高さを上げるには、はめ込み部分 (A) が、最高位置でロックされるまで引っ張り上げます。
4. 点滴ポールハンガー (B) を希望する位置まで回転させ、点滴バッグをつるします。
5. 点滴ポールを下げるには、点滴ポールのはめ込み部分を持ち、ラッチ (C) を回して、はめ込み部分を下げます。
6. 点滴ポールを引き上げ、点滴ポールを収納位置まで回転させます。

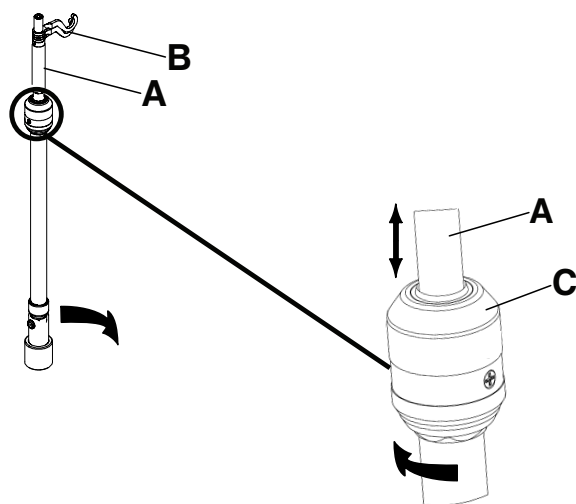


図 12 - オプションの2段階式永久装着点滴ポールの位置調整

オプションの3段階式永久装着点滴ポールの位置調整

警告

- 点滴ポールには、安全使用荷重18 kgを超える点滴バッグを吊るさないでください。
- 点滴ポールのどのハンガーにも、安全使用荷重4.5 kgを超える点滴バッグを吊るさないでください。
- 患者を移動させるときは、出入り口を通過できるように、点滴ポールが低い位置にあることを必ず確認してください。
- 点滴ポールを押しったり引いたりしないこと。製品に損傷が起こる可能性があります。

製品の頭側端部、足側端部、もしくは両端に永久装着された3段階式の点滴ポールオプション付きで、本製品をお求めいただけます。点滴ポールは伸縮式のため、2種類あるいは3種類の異なる高さでも使用できます。使用していない時は、点滴ポールを折たたんで格納できます。

3段階点滴ポールの位置決め (図 13) :

1. 保管位置からポールを持ち上げて回転させます。
2. 点滴ポールが所定に位置にはまるまで、点滴ポールを下に押しします。
3. 点滴ポールの高さを上げるには、はめ込み部分 (A) が、完全に高くなった位置でロックされるまで引っ張り上げます。
4. 高い点滴ポールの場合は、セクション (B) を引き上げます。希望する高さでセクション (B) から手を放し、ポールを決まった位置に固定します。
5. 点滴ハンガー (C) を希望する位置まで回転させ、点滴バッグを吊るします。
6. 点滴ポールを下げるには、ポールが下がるまで、セクション (B) を握りながらグリップ (D) の黄色の部分を押します。
7. ラッチ (E) を回して、点滴ポールのはめ込み部分を下げます。

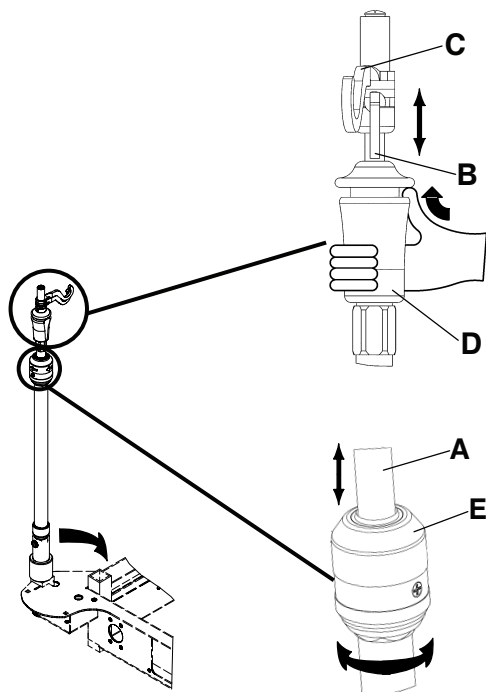


図 13 - 3段階式永久装着点滴ポールの位置調整

付属品と部品

警告 - 必ず有資格者が付属品を組み立てて装着してください。

注意 - 必ず製品に認められた付属品をST1およびST1-X Seriesストレッチャーに使用してください。

これらのアクセサリはご使用の製品と使用できる場合があります。製品の設定または地域において利用可能かをご確認ください。

品名	パーツ番号
診療記録用ホルダー付き除細動器トレイ	MM047
点滴ポール、取り外し可能	MM050
マットレス	6300-0-100
マットレス	6300-0-102
マットレス	6300-0-103
マットレス	6300-0-104
縦型酸素ボトルホルダー - 縦型	MM045
縦型酸素ボトルホルダー - 縦型	MM044
縦型酸素ボトルホルダー - 縦型	MM046
ペーパーロールホルダー	MM048
拘束ストラップ、足首	MM052
拘束ストラップ、胴	MM053
拘束ストラップ、手首	MM054
拘束ストラップパッケージ	MM055

除細動器トレイ/診療記録用ホルダーの装着

警告

- 除細動器トレイ/診療記録用ホルダー、縦型酸素ボンベホルダーが取り付けられている場合は、足側端部のプッシュハンドルオプションの位置調整を行う時に、指を挟まないように常に注意してください。
- 除細動器トレイ/診療記録用ホルダーには、安全使用荷重14 kgを超えるものを置かないでください。
- 除細動器トレイ/診療記録用ホルダーを押す/引くための道具として使用しないでください。製品に損傷が起こる可能性があります。

除細動器トレイ/診療記録用ホルダーを装着するには、本製品の足側端部にあるソケットに除細動器トレイ/診察記録用ホルダーのピン (A) を差し込みます。

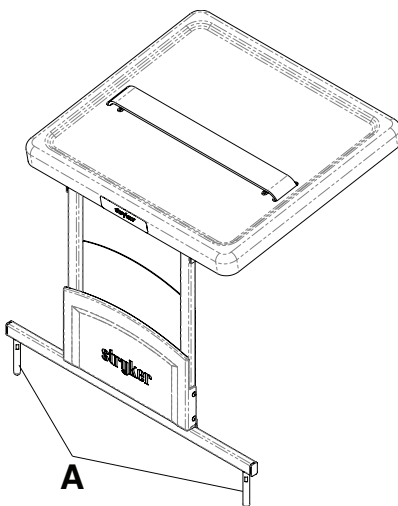


図 14 – 除細動器/診療記録用ホルダーの装着

取り外せる点滴ポールの装着と位置調節

警告

- 点滴ポールには、安全使用荷重6 kgを超える点滴バッグを吊るさないでください。
- 点滴ポールのどのハンガーにも、安全使用荷重3 kgを超える点滴バッグを吊るさないでください。
- 点滴ポールを押したり引いたりしないこと。製品に損傷が起こる可能性があります。

取り外せる点滴ポールの装着と位置を調節するには (図 15) :

1. 本製品の頭側端部または足側端部にあるソケットに点滴ポールを挿入してください。
2. ノブ(A)を左側に回し、ポールのはめ込み部分(B)を上引っ張って、希望する高さまで上げます。
3. ノブ(A)を右側に回し、はめ込み部分を定位置でロックします。

注記

- 患者を移動させるときは、出入り口を通過できるように、点滴ポールが低い位置にあることを必ず確認してください。
- IVポールをストレッチャーアダプターに取り付けたら、ルーリングコッターを使用します。

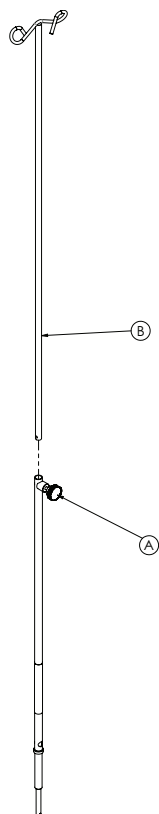


図 15 – 取り外し可能な点滴ポール

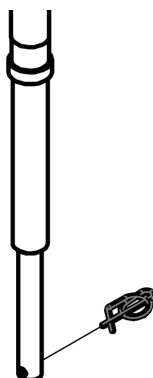


図 16 – ルーリングコッター

縦型酸素ポンベホルダーの装着

警告

- 種類を問わず縦型酸素ポンベホルダーには、安全使用荷重18 kgを超えるものを置かないでください。
- 除細動器トレイ/診療記録用ホルダー、縦型酸素ポンベホルダーが取り付けられている場合は、足側端部のプッシュハンドルオプションの位置調整を行う時に、指を挟まないように常に注意してください。
- 縦型酸素ポンベホルダーを押し/引くための道具として使用しないでください。製品に損傷が起こる可能性があります。

縦型酸素ポンベホルダーは酸素ポンベを垂直に保持します。

縦型酸素ポンベホルダーを装着するには：

1. 支持バー (A) を、本製品の頭側端部にある酸素ポンベホルダーのソケットに挿入します。

2. 本製品にポンベホルダーを固定するには、支持バーの穴にコッターピン (B) を挿入してください。

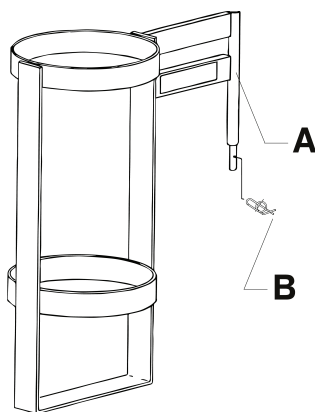


図 17 - 酸素ポンベホルダーの取り付け

注記 - 直立する酸素ポンベホルダーは、以下の酸素ポンベのサイズを支持します：

仕様	パーツ番号
最大径 120 mm、最長 900 mm	MM045
最大径 120 mm、最長 640 mm	MM044
最大径 140 mm、最長 640 mm	MM046

ペーパーロールホルダーの装着

警告

- ペーパーロールホルダーを押し/引くための道具として使用しないでください。製品に損傷が起こる可能性があります。
- ペーパーロールホルダーには、安全使用荷重1.5 kgを超えるものを吊さないでください。

ペーパーロールホルダーは、ストレッチャー表面の衛生上の保護層としてペーパーシートを繰り出します。

ペーパーロールホルダーの装着：

- 本製品の頭側端部で、ペーパーロールホルダー上にあるバー (B) をポップアップ・プッシュハンドル間のフレームに向けて配置します。
- プラスドライバーとセルフタッピングねじ (A : HM-06-121) 2本を使用して、ペーパーロールホルダーをフレームに固定します。
- ペーパーロールをペーパーロールホルダー (C) までスライドさせます。

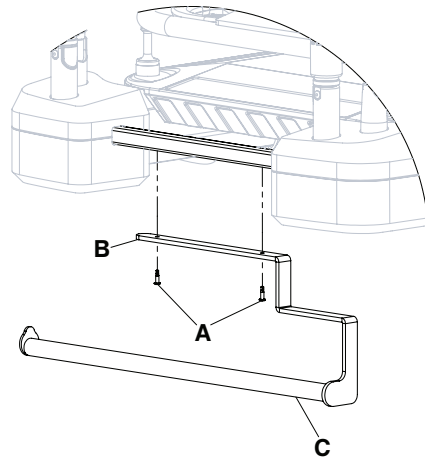


図 18 - ペーパーロールホルダーの装着

患者拘束ストラップの固定位置

警告

- 拘束ストラップを取り付ける時は常に注意を払ってください。患者または介助者の怪我を引き起こす場合があります。身体拘束は固定していても、からまったり、巻き込まれたり、身体的な怪我あるいは死亡を含む重大な危害を患者および介助者にもたらす場合があります。
- 拘束ストラップまたは装置は必ず、製品の所定の取付位置にのみ取り付けるようにしてください。これを怠ると、患者や介助者が怪我をする場合があります。サイドレールに拘束ストラップを絶対に取り付けしないでください。
- 拘束ストラップまたは装置を使用する前に、適用される州・国の制限や規制、適切な施設の手順を必ず参照してください。

患者拘束用のストラップを取り付けるために、担架アセンブリには患者拘束ストラップの固定位置が8つ設けられています(図19または図20)。

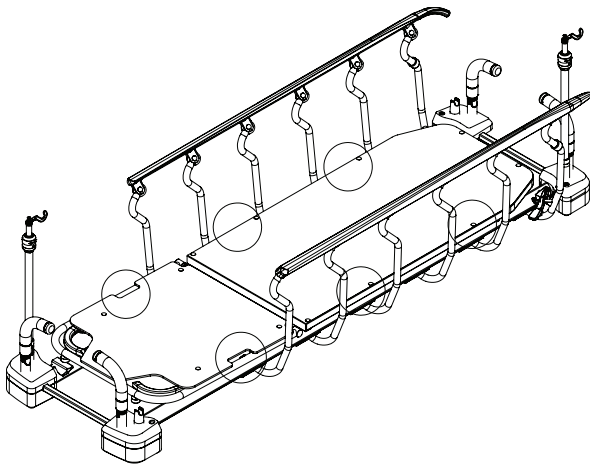


図19 - X線検査用オプションのない拘束ストラップの位置

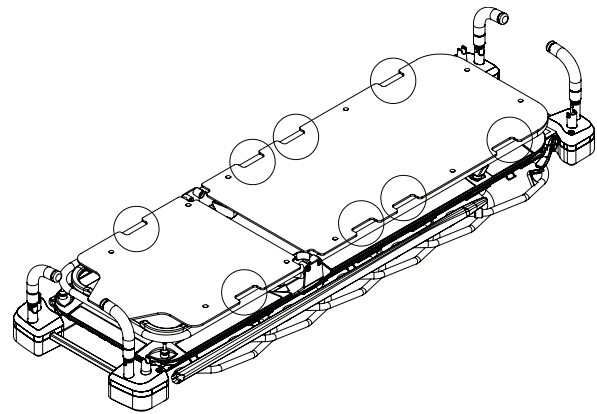


図20 - X線検査用オプションが付いた拘束ストラップの位置

注記 - 拘束ストラップはタイプB適用部品です。

X線カセットを挿入または取り外す

警告

- 放射線発生装置とX線オプションを使用する際は、必ず事前に州および国の安全性に関する該当規則および規制を参照してください。発生装置から残留放射線、迷放射線、散乱放射線が発生する可能性があります。
- 背もたれ部をまっすぐに立てた状態または側臥カセットを使用してX線撮影を行う場合は、特に注意を払ってください。

X線オプションは、X線カセットを配置するために、患者支持面の下に連結式の放射線サポートサーフェイスおよびプラットフォームを備えています。医用X線システムと共に使用することで、製品に患者が乗っている状態のまま、放射線サポートサーフェイスにより医用X線撮影(AP全身、オプションの全身側部、オプションの垂直胸部)が可能になります。頭側端部、足側端部、製品のどちら側からでもカセットを挿入できます。

X線カセットを挿入する：

1. 製品の各側面に備わっている位置インジケータラベルを目安にして、製品の中央に患者を配置します(図21)。
2. 患者仰臥面の下にX線カセットを挿入します。

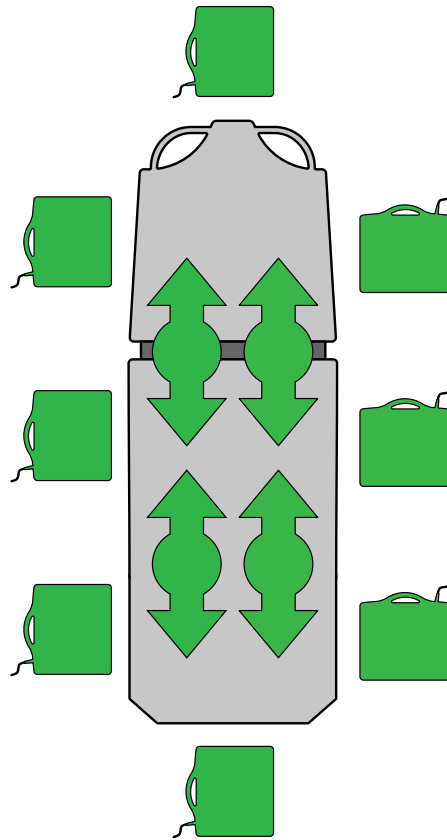


図 21 – X線カセットを挿入または取り外す

注記

- StrykerモデルST1およびST1-X Seriesストレッチャーには、必ず6300-0-100、6300-0-102、6300-0-103または6300-0-104のマットレスを使用してください。
- X線オプションとC-Armを併用しないでください。X線オプションは、C-Armと互換性がありません。
- X線カセットの最大寸法は、35 cm x 43 cm x 2.5 cmです。

洗浄

製品の清掃

この説明では、Strykerモデル6300 ST1およびST1-X Seriesストレッチャーに推奨される洗浄方法が記載されています。

本製品は高圧洗浄できます。本製品の連続洗浄を行うと、酸化または変色の兆候を示すことがあります。ただし、適切な手順に従う限り、高圧洗浄により本製品の性能特性または機能性が低下することはありません。

推奨される洗浄方法

1. 製品からマットレスを取り外します。
2. 洗浄液の製造業者が推奨する希釈に従ってください。
3. 温水と中性洗剤で本製品の全表面を手洗いしてください。
4. 濡らし過ぎないようにし、適切な洗浄方法については洗浄液メーカーのガイドラインよりも長い時間濡れた状態を保持しないようにしてください。
5. 製品が完全に乾くまでマットレスを製品に設置しないでください。
6. 本製品をサービスに戻す前に機能を確認します。
 - 本製品を昇降させます
 - 両方の位置でブレーキ/ステアリングペダルをロックおよびロック解除します
 - サイドレールにラッチをかけ、解除します
 - 背もたれ部を上下させます
 - 部品のすべてに潤滑油が適切に塗布されていることを確認します
 - ほこりやゴミによりジャッキがくっつかないことを確認します
 - ラベルがすべて無傷であることを確認します

注記

- 目に見える汚れがある透過性の物質に皮膚が触れると、感染のリスクが高くなる場合があります。
- 製品を蒸気洗浄しないでください。
- 基部フードの収納部分を洗浄します。
- ブレーキパッドの底部を洗浄し、ワックスや床の残余物が蓄積するのを防ぎます。
- 一部の洗浄剤には本来、腐食性があり、製品を損傷する可能性があります。製品のすすぎと乾燥が十分でないと、製品の表面に腐食性残留物が残り、重要な部品に早発性腐食が生じる恐れがあります。これらの洗浄手順に従わないと保証が無効になる場合があります。

ヨウ素を取り除く

1. 1パイント (約0.5リットル) の温水に大匙1~2杯のチオ硫酸ナトリウムを入れた溶液を用意してください。用意した溶液を使い、しみになった部分を拭いてください。
2. できる限りすぐにしみになった部分を洗浄してください。
3. すぐにしみを取り除かなかつた場合は、マットレスに溶液をつけて、しばらく置いてからマットレスを拭き取ってください。
4. マットレスを再度使用する前に、溶液が触れたマットレスをきれいな水ですすぎます。

注記 - これらの種類の洗浄剤を使用する際に、これらの指示に従わないと、製品の保証が無効になる場合があります。

特記事項

Velcro®	洗浄および消毒するには、消毒剤を染み込ませ、水ですすぎ、消毒剤を蒸発させます。
汚れおよびしみ	温水と中性石鹼を使用します。刺激の強い洗浄液、溶剤、研磨剤は使用しないでください。
洗浄しにくい部分	洗浄しにくい部分やしみには、一般的な家庭用洗剤またはビニールクリーナーと柔らかいブラシを使ってください。固まった汚れはあらかじめ浸しておきます。
洗濯	洗濯は推奨しません。洗濯するとマットレスの耐用年数が著しく減る可能性があります。

マットレスの洗浄

洗浄と消毒は異なる2つのプロセスです。消毒の前に洗浄を行い、洗浄剤の効果があることを確認します。

警告

- 本マットレスの内部部品を洗浄しないでください。内部に汚れが見られた場合は、マットレスを廃棄してください。
- マットレスを洗浄液や消毒剤溶液に浸さないでください。
- マットレスの上に液体が溜まらないようにしてください。
- マットレスカバーをアイロン、ドライクリーニング、機械乾燥しないでください。

注意

- 必ずフォームコアには6300-1-000のマットレスカバーを使用してください。
- 必ず清潔な水で本製品を拭くことを確認してください。洗浄後、各製品を乾燥させます。一部の洗浄剤には本来、腐食性があり、製品を損傷する可能性があります。これらの洗浄手順に従わないと保証が無効になる場合があります。
- マットレスカバーの予想耐用期間が短くなるため、強力な化学薬品が含まれる洗浄剤および消毒剤は使用しないでください。
- マットレス底部を洗浄する際には、ファスナー部分や撥水性のカバーバリアに液体が染み込まないようにしてください。ファスナーに液体が接触すると、マットレスの中に漏れることがあります。
- 必ずマットレスを乾かしてから、保管、リネンの追加、または患者を仰臥面に乗せてください。製品を乾かすことで、製品の性能が損なわれることを防げます。

洗浄および消毒については、病院の手順に必ず従ってください。

マットレスカバーを洗浄する：

1. 清潔で柔らかい湿った布に刺激の少ない石けんと水溶液でマットレスカバーを拭き、異物を取り除きます。
2. 清潔な乾いた布を使用してマットレスカバーを拭き、余分な液体や洗浄剤を取り除きます。
3. マットレスカバーを乾かします。

注記 - 洗濯は、マットレスの耐用年数が短くなるおそれがあるため推奨されません。

製品を消毒する：

警告

- 本製品の使用中は、清掃、保守、メンテナンスは行わないでください。
 - 本製品は蒸気洗浄したり、ホースで水をかけたり、超音波洗浄したりしないでください。これらの清掃方法を用いることは推奨されず、製品保証が無効になる場合があります。
-

推奨する消毒剤

- グリコール・エーテルを含む第4級物質（2100 ppm 有効成分 - 塩化アンモニウム）
- 塩素系漂白溶液 - 1000 ppm 有効
- 70%イソプロピルアルコール（700,000 ppm）

推奨される消毒方法

1. 消毒液製造業者の推奨希釈に従ってください。
2. 消毒液で製品の表面すべてを手洗います。
3. 過度の浸漬は避け、化学洗剤メーカーのガイドラインが示す適切な消毒の規定を超える長時間にわたり、製品を濡れた状態におかないようにしてください。
4. 完全に乾かします。製品が完全に乾くまでマットレスを製品に戻さないでください。
5. フックおよびループファスナーは、毎回使用後に消毒してください。フックおよびループファスナーに消毒剤を染み込ませ、水ですすぎ、消毒剤を蒸発させます（適切な消毒剤は医療機関が定める）。
6. 本製品をサービスに戻す前に機能を確認します。
 - 本製品を昇降させます
 - 両方の位置でブレーキ/ステアリングペダルをロックおよびロック解除します
 - サイドレールにラッチをかけ、解除します
 - 背もたれ部を上下させます
 - 部品のすべてに潤滑油が適切に塗布されていることを確認します
 - ほこりやゴミによりジャッキがくっつかないことを確認します
 - ラベルがすべて無傷であることを確認します

注記

- 目に見える汚れがある透過性の物質に皮膚が触れると、感染のリスクが高くなる場合があります。
- 一部の洗浄剤には本来、腐食性があり、製品を損傷する可能性があります。製品のすすぎと乾燥が十分でないと、製品の表面に腐食性残留物が残り、重要な部品に早発性腐食が生じる恐れがあります。これらの洗浄手順に従わないと保証が無効になる場合があります。

マットレスの消毒

警告

- 交差汚染および感染のリスクを回避するため、必ずマットレスは病院の手順に従って消毒してください。
 - マットレスを洗浄液や消毒剤溶液に浸さないでください。
 - マットレスの上に液体が溜まらないようにしてください。
 - 本製品の消毒にVirex® TBを使用しないでください。
 - グリコール・エーテルを含む加速化過酸化水素または第4級物質は、マットレスカバーの損傷の原因となることがあるため、使用しないでください。
-

注意

- 必ず清潔な水で本製品を拭くことを確認してください。洗浄後、各製品を乾燥させます。一部の洗浄剤には本来、腐食性があり、製品を損傷する可能性があります。これらの洗浄手順に従わないと保証が無効になる場合があります。

- 必ずマットレスを乾かしてから、保管、リネンの追加、または患者を仰臥面に乘せてください。製品を乾かすことで、製品の性能が損なわれることを防げます。
 - 高濃度の消毒剤溶液にマットレスカバーをさらし過ぎるとマットレスカバーが劣化するため、さらし過ぎないでください。
 - マットレス底部を洗浄する際には、ファスナー部分や撥水性のカバーバリアに液体が染み込まないようにしてください。ファスナーに液体が接触すると、マットレスの中に漏れることがあります。
 - マットレスカバーの予想耐用期間が短くなるため、強力な化学薬品が含まれる洗浄剤および消毒剤は使用しないでください。
 - 製造業者の洗浄指図およびStrykerの操作説明に従わないと、マットレスの耐用年数に影響することがあります。
-

推奨する消毒剤：

- グリコール・エーテルを含有しない第四級物質 - 2100 ppm 有効
- 塩素系漂白剤 - 1000 ppm 有効
- 70%イソプロピルアルコール (700,000 ppm)

洗浄および消毒については、病院の手順に必ず従ってください。

マットレスカバーを消毒する：

1. 消毒剤を使用する前に、マットレスカバーを洗浄して乾かします。
2. 湿らせた布またはウェットシートを使って推奨の消毒液で消毒します。マットレスを液体に浸さないでください。

注記 - 適切な接触時間および水拭きの基準については消毒剤の製造業者の指示に確実に従ってください。

3. 清潔な乾いた布でマットレスを拭き、余分な液体や消毒剤を取り除きます。
4. マットレスカバーを乾かします。

予防保守

警告 - マットレスカバーを洗淨する度に、マットレスを点検してください。マットレスカバーを洗淨する度に、病院の手順に従って予防保守を実施してください。破損がある場合は、マットレスの使用を停止し、交差汚染を避けるために製品を交換してください。

予防保守点検を行う前に、製品の使用を中止します。Stryker Medicalの全製品については、年次予防保守を行う際、記載されている全項目を確認してください。製品の使用度によって、予防保守点検の頻度を高めることが必要な場合があります。有資格者のみが修理してください。

注記 - 該当する場合、点検の前にマットレスの外装を洗淨、消毒します。

以下の項目を点検します：

- _____ ファスナーとカバー（上面と底面）に破れ、切れ目、または穴がない
- _____ カバーのファスナーを開き、内部構成部品に液体の浸入や汚染による染みの形跡がない
- _____ 発泡樹脂と他の構成部品が分解状態にあったりばらばらになったりしていないこと
- _____ すべての溶接
- _____ 固定具がすべて固定されている
- _____ 製品ラベルがすべて正しい位置にあり、判読可能である
- _____ 溶接部（ベースフレーム、ブレーキ、担架、ジャッキ、台車、点滴ポールの旋回軸、およびプッシュハンドル）がすべて破損していない
- _____ サイドレールを動かすことができ、ラッチがかかる
- _____ サイドレールのラッチがしっかりとかかる
- _____ サイドレールが破損していない
- _____ サイドレールのラッチが破損しておらず、ラッチアセンブリ内に削り目やごみがない
- _____ 静電気防止キャスターに摩損や破損がない
- _____ ブレーキペダルを踏むとキャスターのロックがかかる
- _____ キャスターがしっかりと固定、回転する
- _____ キャスターにワックスや残渣がついていない
- _____ キャスターに摩損や破損がない
- _____ キャスター取付部に破損がない
- _____ キャスター、ブレーキ機構、およびブレーキロッドに破損や亀裂がない
- _____ 背もたれ部を上げたり下げたりでき、所定の場所にラッチがかかる
- _____ 背もたれ部が移動したり、不意に倒れたりしない
- _____ 背もたれ部のシリンダーに漏れがない
- _____ 背もたれ部のガスシリンダーのピンが固まっていない
- _____ ブレーキ / ステアリングペダルに湾曲や破損がない
- _____ ブレーキ機構が機能する
- _____ ステアリングが機能する
- _____ 第5輪に摩損や破損がなく、機能する
- _____ 第5輪の結合部に湾曲やオーバートラベルがない
- _____ 第5輪にごみやワックスの蓄積がない
- _____ 台車のボルトはしっかりと締まっている
- _____ ベースフレームに破損がない
- _____ ポンプペダルに緩み、摩損、または破損がない

- _____ 油圧解除ペダルに緩みや破損がない
- _____ ジャッキ解除バルブにほこりやごみがなく、固着していない
- _____ ジャッキ接合部に調整不良や破損がない
- _____ ジャッキ調整バルブおよびバネが機能する
- _____ ジャッキに破損がない
- _____ 頭側端部および足側端部のジャッキが同時に昇降する
- _____ 担架があらゆる場所で昇降する
- _____ 担架の構成部品が所定の位置にあり、破損がない（固定具、固定ピン、ピン、ブッシングに戻り、緩み、摩損、破損がない）
- _____ すべての位置からトレンデレンブルグ/逆トレンデレンブルグが作動する
- _____ 皮膚にひび割れがないか確認する
- _____ フックおよびループ状固定具が所定の位置にあり、完全な状態でしっかりと固定されている
- _____ 背もたれ部を上げたり下げたりでき、所定の場所にラッチがかかる
- _____ 背もたれ部の下位システム（ハンドル、ワイヤー、ベース溶接部、シリンダー、固定具など）に破損がない
- _____ 液圧ジャックが保持されている
- _____ 背もたれ部のワイヤーと機械的構成部品間に干渉がない
- _____ 液圧接続部に漏れがない
- _____ 必要に応じて潤滑剤を塗布する
- _____ プッシュハンドルに緩みや破損がない
- _____ 体の拘束具にラッチがかかり、固定される（オプション）
- _____ 点滴ポールが完全で、破損がなく、調整可能で、すべての位置でラッチがかかる（オプション）
- _____ 酸素ボンベホルダーに損傷がなく、開閉できる（オプション）
- _____ マットレスカバーに裂け目や割れ目がない
- _____ 付属品および取付け器具が良好な状態にある

製品シリアル番号：
記入者：
日付：

格納式第5輪を潤滑する

必要なツール：

- MPG-3潤滑油
- バンジーコード

手順：

1. 本品を最も高い位置まで上げます。

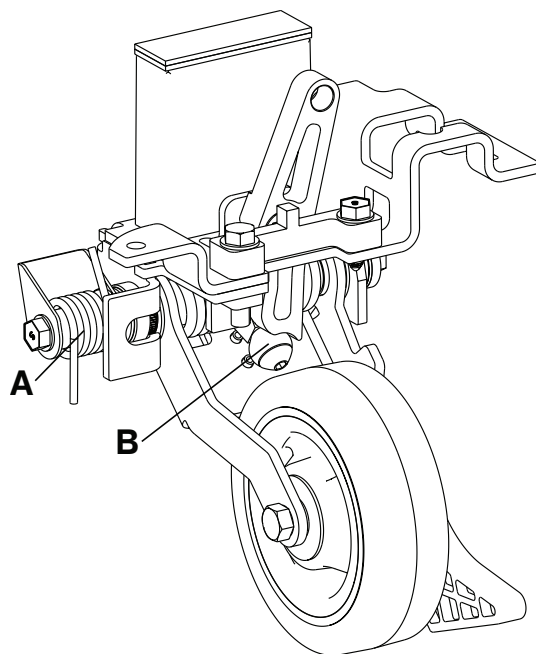


図 22 – 格納式第5輪を潤滑する

2. 基部フードを上げて、フードをバンジーコードで支えます。
3. MPG-3潤滑油をスプリング (A) およびローラー (B) に塗布します (図 22)。
4. バンジーコードを取り除いて、フードを下げます。
5. 再度使用する前に、本製品が正しく機能することを確認してください。

stryker



Stryker Medical
3800 E. Centre Avenue
Portage, MI 49002
USA